

令和3年度 年間指導計画(シラバス)

教科名	地歴公民	科目名	地理A	単位数	2	履修学年・クラス	2ABC
担当者			使用教材	『高等学校新地理A』(帝国書院) 『新コンパ外地図帳』(二宮書店)			

1 学習目標

現代世界の地理的な諸問題を、地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

2 学習方法

授業では教科書・ノート・プリント・地図帳を使う。授業をしっかりと聞いてノートをしっかりとること。単元ごとに確認プリントをおこなうので、日々の授業で覚えるべき事項はその時々しっかりと覚えること。また、地図・統計を使った作業や都道府県名など地理の基礎的な内容も学習するので、試験前にはそちらほうの復習も必ずしておく。

3 学習評価

評価の観点	関	関心・意欲・態度	現代世界の地理的な諸問題に対する関心と課題意識を高め、それを意識的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。
	思	思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。
	技	技能	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追求する技能を身につけるとともに、追求した過程や結果を適切に表現する。
	知	知識・理解	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけている。

4 学習計画

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価基準	評価方法
			関	思	技	知		
前期	1章 地球儀や地図からとらえる現代社会	1節 地球上の位置と国家	○	○	○	○	関: 球面と平面で表される世界に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追求し捉えようとしたか 思: 時差のしくみや時差と日常生活との関連を踏まえて多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現したか 技: 地上の現象や地球上の位置に関する情報を収集・選択して、読み取ったり地図上にまとめたりしたか 知: 国家の領域と様々な国境についての基本的な事柄理解し、それらの知識を身につけたか	授業態度 発問評価 小テスト 定期考査 ノート点検
		2節 グローバル化が進む世界	○	○	○	○	関: 結びつきを深める現代社会に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、とらえようとしたか 思: 国際化と人々の移動に関する課題を見だし、それを地域性や歴史的背景をふまえて多角的・多角的に考察し、その結果を適切に表現したか 技: 貿易の地域性や動向に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったりまとめたりしたか 知: 地域の国際化の広がりについて基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけたか	
	2章 人間生活を取り巻く環境	1節 人々の生活と地形	○	○	○	○	関: 生活と地形の関わりに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求したか 思: 自然環境を形成する地形について、地域性や日常生活との関連を踏まえて多角的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現したか。	
		2節 人々の生活と気候	○	○	○	○	技: ケッペンの気候区分と分布に関する地図などを見つけ出し、有用な情報を選択して、読み取った内容をまとめたりできたか。 知: 気温・降水量・風などの気候要素についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけたか。	
		3節 人々の生活と産業・文化	○	○	○	○	関: 各地域の自然環境に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えたか。 思: 各地域の歴史や多様な民族と文化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現したか。 技: 各地域の農業地帯などをあらわすグラフや資料などを収集し、有用な情報を選択して、読み取ったりまとめたりしたか。 知: 各地域の工業化や地域の経済統合など、基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけたか。	
			○	○	○	○	関: 各地域の自然環境に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えたか。 思: 各地域の歴史や多様な民族と文化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現したか。 技: 各地域の農業地帯などをあらわすグラフや資料などを収集し、有用な情報を選択して、読み取ったりまとめたりしたか。 知: 各地域の工業化や地域の経済統合など、基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけたか。	
後期中間	3章 世界の諸地域の生活・文化	1中国の生活・文化	○	○	○	○	関: 各地域の自然環境に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えたか。 思: 各地域の歴史や多様な民族と文化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現したか。 技: 各地域の農業地帯などをあらわすグラフや資料などを収集し、有用な情報を選択して、読み取ったりまとめたりしたか。 知: 各地域の工業化や地域の経済統合など、基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけたか。	授業態度 発問評価 小テスト 定期考査 ノート点検
		2韓国生活・文化	○	○	○	○		
		3東南アジアの生活・文化	○	○	○	○		
		4南アジアの生活・文化	○	○	○	○		
		5中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化	○	○	○	○		
		6サハラ以南のアフリカの生活・文化	○	○	○	○		
		7ヨーロッパの生活・文化	○	○	○	○		
		8ロシア生活・文化	○	○	○	○		

後		9アングロアメリカの生活・文化	○	○	○	○		
		10ラテンアメリカの生活・文化	○	○	○	○		
		11オーストラリアの生活・文化	○	○	○	○		
期	後 期 末	4章 地球的課題と私たち	1複雑にからみ合う地球的課題	○			○	関: 世界の資源・エネルギー問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしたか
			2世界の環境問題	○			○	思: 世界で起こる環境問題・食糧問題・人口問題について、先進国、途上国の課題の違いを見いだして考察したか
			3世界の資源・エネルギー問題	○				技: 世界の諸地域に現れる都市問題に関する図や統計などを收拾し、有用な情報選択をして、読み取ったことをまとめられたか
			4世界の人口問題		○		○	知: 世界の諸課題について、その解決に向けた取り組みについて、その知識を身につけたか
			5世界の食料問題			○	○	
			6世界の都市・居住問題			○	○	
	2部 身近な地域の課題	1章 身近にあるさまざまな地図	1章 身近にあるさまざまな地図				○	関: ハザードマップやバリアフリーマップなど身の回りにあるさまざまな地図に関して理解したか
			2章 日本の自然環境と防災	○	○			思: 地形図以外の地図を作成するにあたって、どのような点に留意し手策すれば、利用者が使いやすいか考察できたか
			3章 身近な地域の課題と地域調査	○		○		技: 身近にある諸課題を解決するマップの作成を通じて、さまざまな技法の特徴を掴んでマップを作成できたか
								知: 大震災の経験から、日本ではどのような防災対策が行われているかを理解したか

授業態度
発問評価
小テスト
定期考査
ノート点検